

シリーズ 元気です

105

鳥取を元気に、大きく、 多くの笑顔と夢を！

おおとりかい 大鳥会



理事長

松本 賢広 さん
Yoshihiro Matsumoto

副理事長

上田 慎吾 さん
Shingo Ueta

もっと自由に活動したい

10月10日(日) コカコーラウエストパークで、「大鳥フェスティバル」が開催されました。傘踊りやダンスなどのステージイベント、フリーマーケット、鳥取の食材にこだわったハンバーガーやうどんの屋台など、すべて手づくりで内容盛りだくさんのフェスティバルを企画したのは、「鳥取を元気に、大きく、多くの笑顔と夢を」をスローガンに集まった、若手経営者グループ「大鳥会」のみなさんです。

大鳥会は、県東部の20〜30代の若手経営者たちが、もっと自由に活動したいと結成。理事長の松本さんの声かけに賛同した8人で今春、旗揚げしました。

メンバーの業種は飲食業、建設業、自動車販売業など多岐にわたっています。仕事を終えてから集まる、毎月1回の定例会は欠かしません。夜遅くまでアイデアを出し合っ、海岸清掃などのボランティア活動や第21回ふるさと鳥取桜まつりなどのイベントにも参加し、活動の幅を広

げてきました。

自慢の「大鳥バーガー」

中でも活動の中心は、県が推進する「食のみやこ鳥取県」にあやかり、松本さんが考案した「大鳥バーガー」。

大鳥バーガーは、地元産の食材をふんだんに使用し、特製のタレで煮込んだ大山地鶏が売りのハンバーガー。目立つ所で売り出そうと考えた時、思いついたのが、ガイナーレ鳥取のホームゲームへの出店でした。

「飲食業をしているので、以前からB級グルメやご当地バ

ーガーには関心がありました」と語る松本さんは、素材選びに自信をにじませます。

そして、松本さんの思惑通り、ガイナーレ鳥取の今期の躍進と歩調を合わせるかのように、会も大鳥バーガーとともに順調に成長していきました。

まずは自分たちを元気に

副理事長の上田さんは、3年前に広島から帰郷し、ボランティア活動を通じて松本さんと意気投合。実務面で松本さんをサポートします。「1人では何もできないけれど、み



地元産の食材をふんだんに使用した「大鳥バーガー」

《12月の番組ガイド》

.....鳥取市行政番組.....

『こんにちは鳥取市です』【放送】毎週金・土

鳥取市の施策や事業の取り組み状況、各種行事、お知らせを紹介します。

【特集】

- ▷鳥取市政十大ニュース
- ▷砂の美術館クリスマスアートプロジェクト & 鳥取砂丘イリュージョンⅧ
- ▷市民活動フェスタ in とっとり
- ▷市民美術展作品紹介（工芸）



昨年の「鳥取砂丘イリュージョン」

静止画文字情報

『鳥取市からのお知らせ』【放送】毎週日・月・水・木



イベント・募集・相談などの各種お知らせを、文字画面と音声でご案内します。

いなばびよんびよんネット

.....自主制作番組.....

農業番組『いなばアグリタイム』【放送】毎週水・木

二十世紀梨のせん定など、来年の収穫に向けた農作業の様子や、正月の準備に忙しい農村の話題などをお送りします。

地域情報番組『とっとりウオーキング』【放送】毎週日・月

市内各地の正月準備の様子や、取材映像で今年の1年を振り返ります。

生活情報番組『びよんびよんワイド』【放送】毎週火

子育てや健康をテーマに、暮らしに役立つ情報や話題をお届けします。

手話番組『手話でコミュニケーション』【放送】毎週日・月

ニュースや話題、行事、お知らせを手話や字幕で紹介します。

鳥取市コミュニティデータ放送が始まりました！

鳥取市の行政情報や地域情報など生活に密着した情報が、地デジテレビやSTBなどのリモコンを操作することで、ご家庭のテレビで手軽にご覧いただける「鳥取市コミュニティデータ放送」がスタートしました。操作方法など詳しくは、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

情報をお寄せください！

いなばびよんびよんネット ☎ 0857-22-6111

※放送予定は予告なく変更することがあります。

番組の放送時間は、ホームページまたはデジタル放送の電子番組表 (EPG) をご覧ください。

<http://www.inabapyonpyon.net>



大鳥フェスティバル (2010.10.10 コカコーラウエストパーク)

みんなで集まればいろいろなことができる」と、会の活動に期待を膨らませます。

今年8月のしゃんしゃん祭では、鳥取こども学園とともに初参加。踊りの練習は夜中の4時ごろまですることもありました。「踊り終わった後は涙、涙でした・・・」と語る松本さん。

その後も、大鳥バーガーの売上金の一部を、鳥取こども学園に寄付をするなど、子どもたちとの交流は今も続いています。

「鳥取が元気にならなければ、自分たちの商売も元気にならない。まずは、自分たちが元気になること」と、松本さんを支える上田さんは会の目的を理解しています。

少しずつ輪を広げて

「メンバーのみんなには、いつも感謝しています」と先頭に立って引く張る松本さん。

現在、メンバーは18人。

大鳥会では、随時、メンバーを募集しています。県東部を中心にごんばつている若手経営者で、会の目的を理解する人であれば歓迎ですが、「まずは、メンバーの絆を深めて足元をしつかりと固め、会を成長させていきたい」と、松本さんは、急成長への警戒も怠りません。

また、来年4月中旬には、第2回大鳥フェスティバルを計画中ですが、今後、運営スタッフや出店者を募集すること。次回は「食のお祭り」

をテーマに、B級グルメや地元産食材でさらに盛り上げます。

松本さんと上田さんの出会いが発端で、若手経営者たちの共感を得て始まった大鳥会。結成当初は、会のネーミングから鳥取大学のサークルとまじがえられることもありましたが、最近では、「ガイナール鳥取のホームゲームに出ておられますね」と声をかけられることも。

大鳥会の挑戦は、荒削りながらも少しずつ輪を広げ、鳥取のまちに多くの笑顔と夢を与えてくれることでしょうか。